

2023年12月期 第3四半期決算説明資料

2023年11月10日

株式会社ツバキ・ナカシマ

(証券コード6464 東証プライム市場)



FY2023 第3四半期業績の概要

売上

- 売上収益：592億円。前年同期比▲4.3%※
- 成長戦略：セラミックボールは73億円。前年同期比+10.4%

利益

- 営業利益：28億円。前年同期比+6.1%※
- 売上の減少に伴う利益減をコスト改善で補う状況が続く

配当

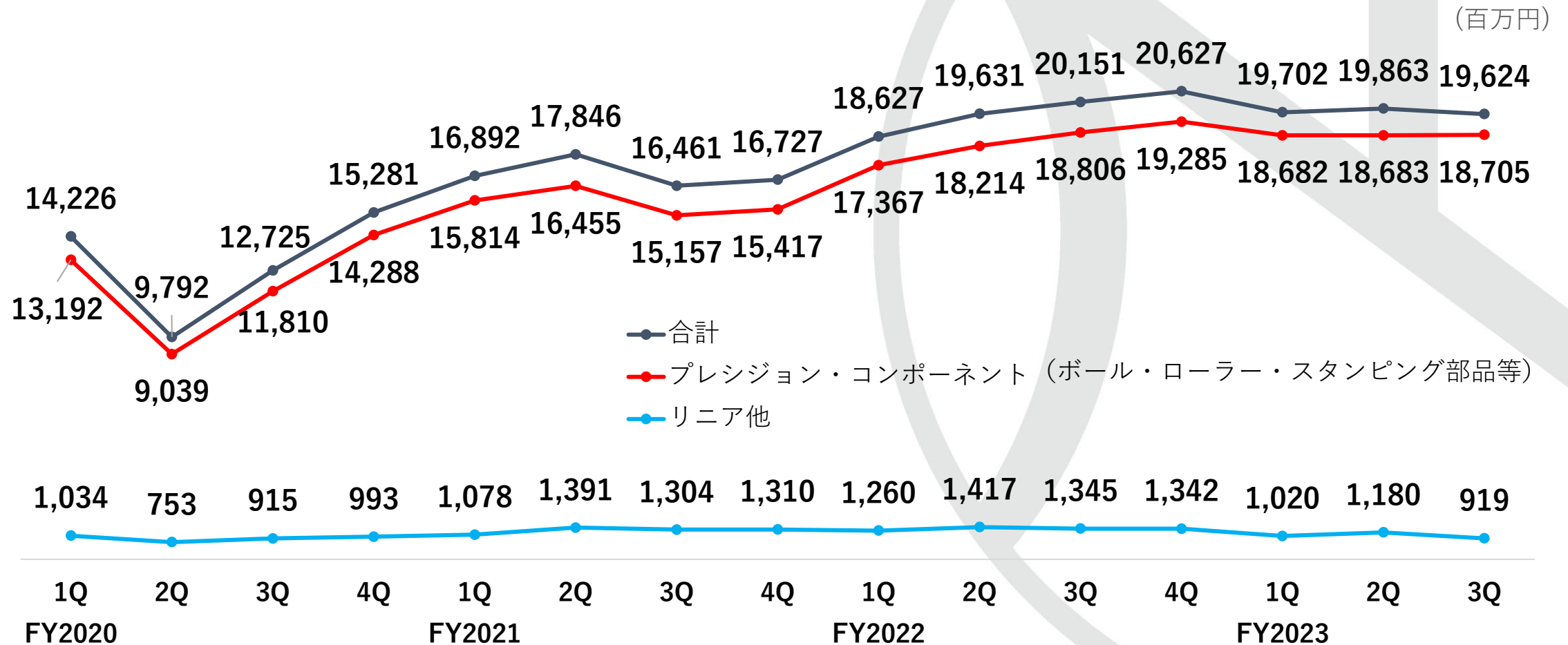
- 期末配当は、17円/株を予定
- 年間配当額は、中間配当13円/株とあわせ、30円/株の予定

※ “増減比”は為替影響を除く

四半期 連結売上収益推移

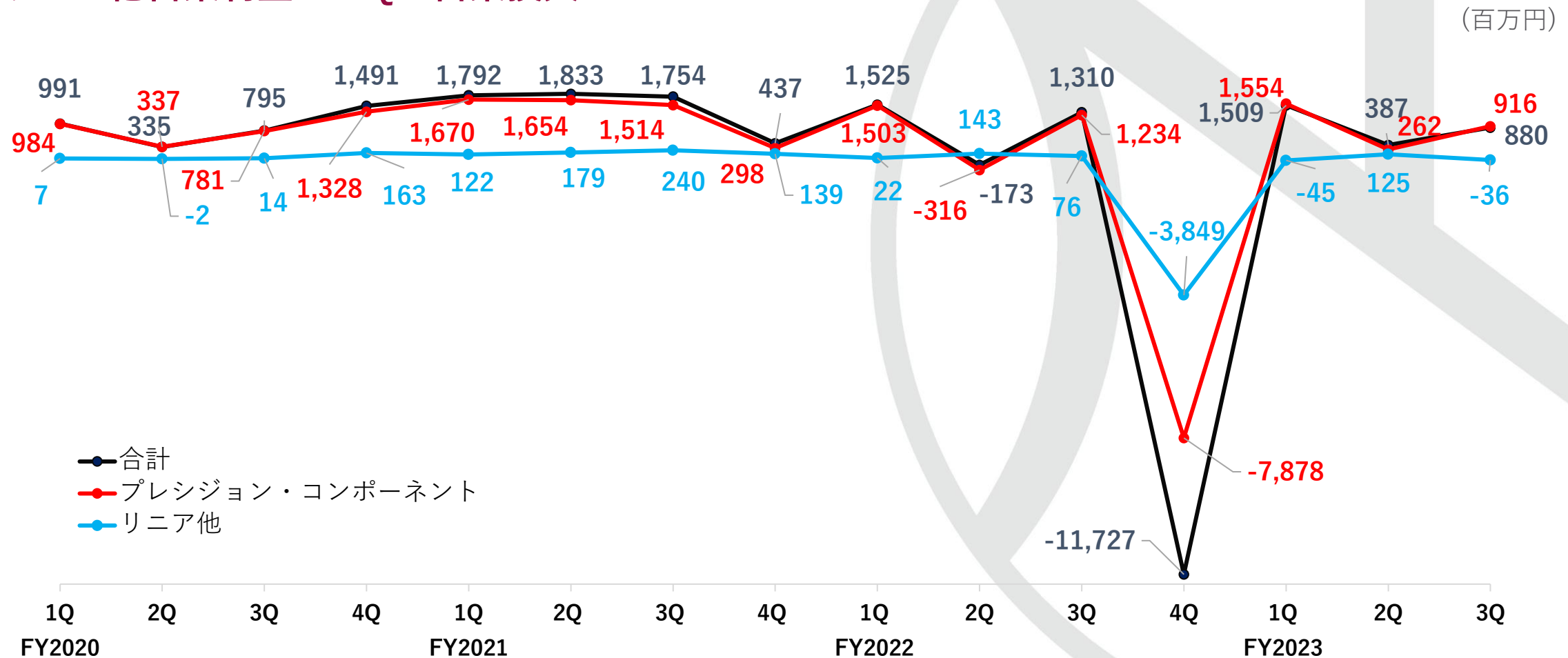
プレジジョン・コンポーネント売上収益：前年同期比0.5%減、前四半期比は0.1%増

リニア他の売上収益：前年同期比31.7%減、前四半期比22.1%減



四半期 連結営業利益推移

プレジジョン・コンポーネント営業利益：前年同期比25.8%減、前四半期比は249.6%増
 リニア他営業利益：3Qは営業損失



FY2023 第3四半期連結業績（前年同期比）

売上収益（除為替影響）は前年同期比4.3%減、営業利益は同6.1%増

（百万円）

	FY2022	FY2023			
	3Q累計	3Q累計			
	実績	実績	為替影響	増減額 ^{※1}	増減比 ^{※1}
売上	58,409	59,189	3,271	▲ 2,491	▲ 4.3%
営業利益	2,662	2,776	▲ 48	162	6.1%
対売上(%)	4.6%	4.7%	—	—	—
EBITDA	5,401	5,134	60	▲ 327	▲ 6.1%
税前利益	2,974	2,706	▲ 60	▲ 208	▲ 7.0%
当期利益	1,494	1,192	▲ 103	▲ 199	▲ 13.3%

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

FY2023 第3四半期セグメント・地域別売上（前年同期比）

（百万円）

	FY2022	FY2023			
	3Q累計	3Q累計			
	実績	実績	為替影響	増減額 ^{※1}	増減比 ^{※1}
グループ連結	58,409	59,189	3,271	▲ 2,491	▲ 4.3%
プレシジョン・コンポー ネントセグメント ^{※2}	54,387	56,070	3,259	▲ 1,576	▲ 2.9%
日本	10,040	10,347	—	307	3.1%
北米	11,156	11,682	870	▲ 344	▲ 3.1%
欧州	20,391	20,200	2,008	▲ 2,199	▲ 10.8%
中国	10,676	10,998	177	145	1.4%
アジア（除中国）	2,128	2,845	204	513	24.1%
リニア他セグメント	4,022	3,119	12	▲ 915	▲ 22.7%

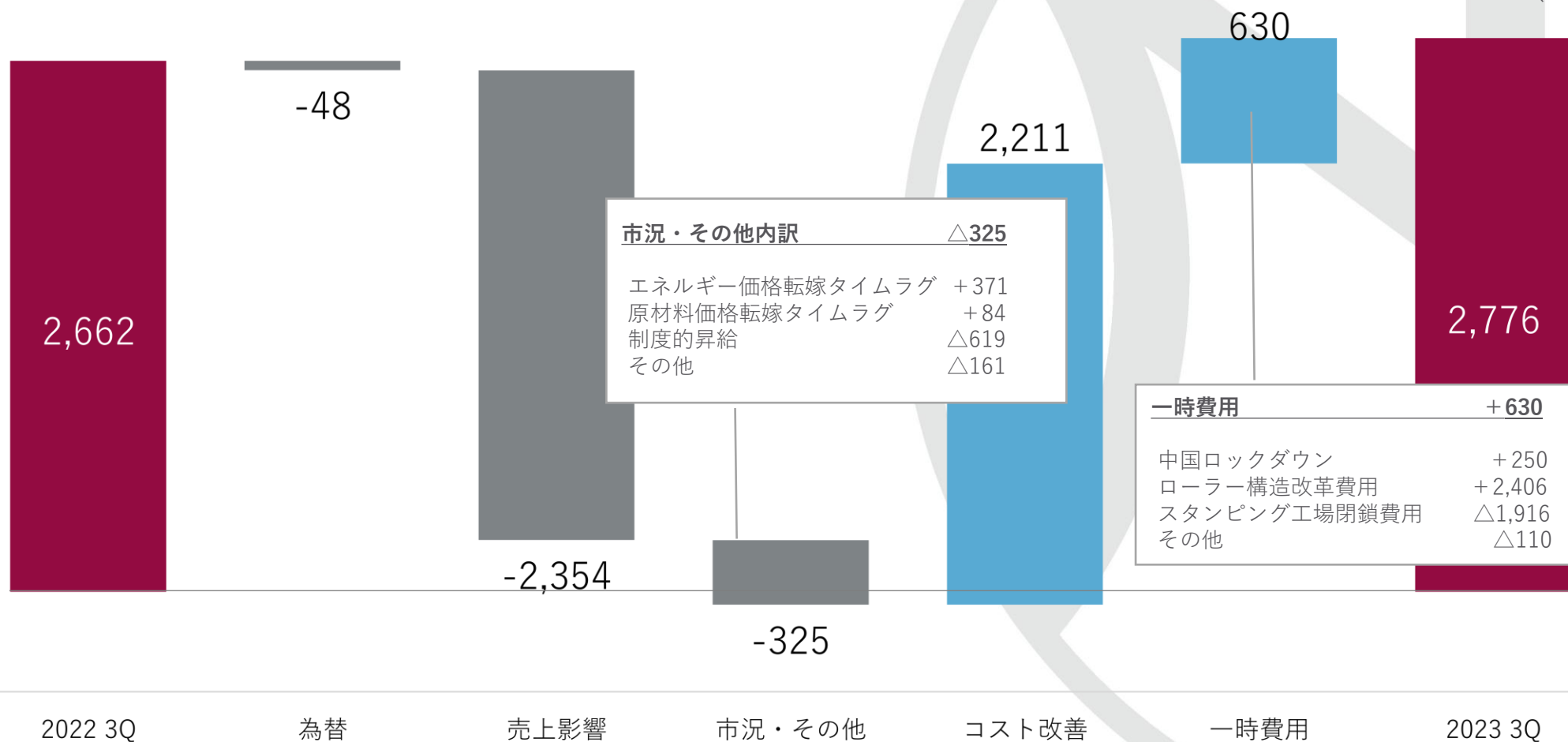
※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

※2 地域間の連結消去後

FY2023 第3四半期 営業利益増減要因（前年同期比）

売上減少の一方、コスト改善及び一時費用の減少の影響により、営業利益は前年同期比4.3%増の2,776百万円

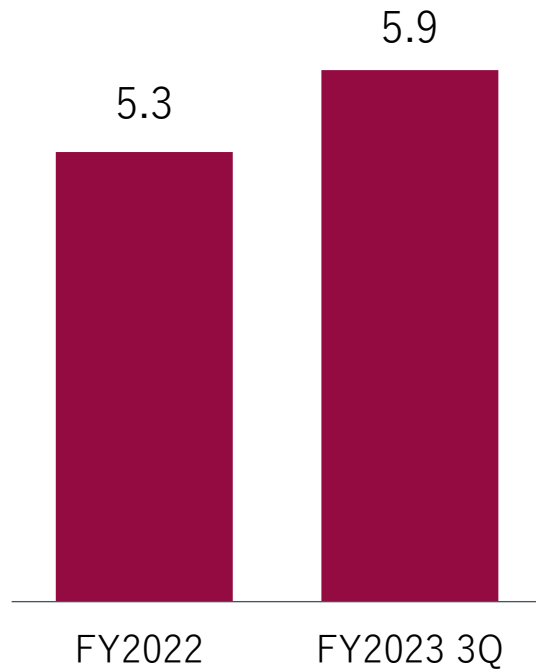
(百万円)



BS / CFにおける業績

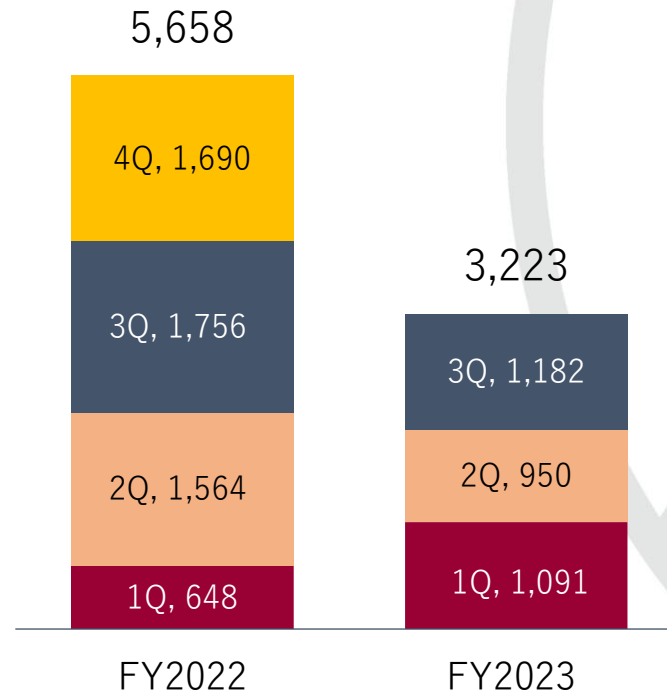
棚卸資産回転月数(月)

販売減による在庫増



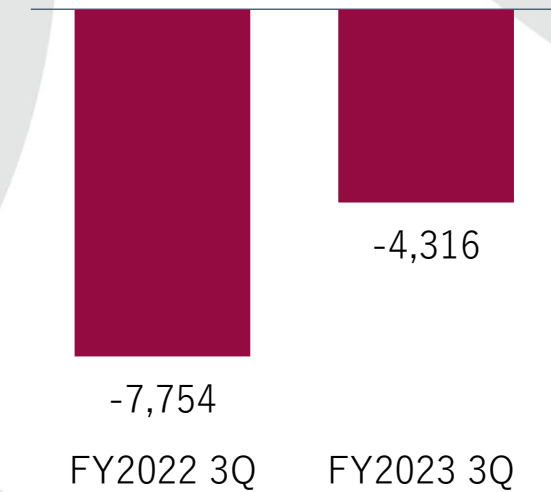
設備投資額(百万円)

成長に向けた設備投資は推進中



フリーキャッシュフロー
(百万円)

売上債権を主とした運転資本の改善



成長戦略の進捗 (FY2023 第3Q迄)

セラミックボールの伸びが一時的に鈍化

メディカルデバイスおよびアジア地域での拡販は前四半期比プラス

(百万円)

セラミックボール

メディカルデバイス

アジア地域での拡販

(除く中国、セラミック)

YoY +41
+1.8%

QoQ ▲186
▲7.3%

YoY ▲28
▲6.5%

QoQ +161
+68.3%

YoY +80
+8.3%

QoQ +38
+3.8%

9,284

4Q, 2,662

3Q, 2,314

2Q, 2,257

1Q, 2,051

7,311

3Q, 2,355

2Q, 2,541

1Q, 2,415

1,519

4Q, 473

3Q, 425

2Q, 318

1Q, 303

1,064

3Q, 397

2Q, 236

1Q, 431

4,250

4Q, 1,205

3Q, 961

2Q, 1,033

1Q, 1,051

3,032

3Q, 1,041

2Q, 1,003

1Q, 988

FY2022

FY2023

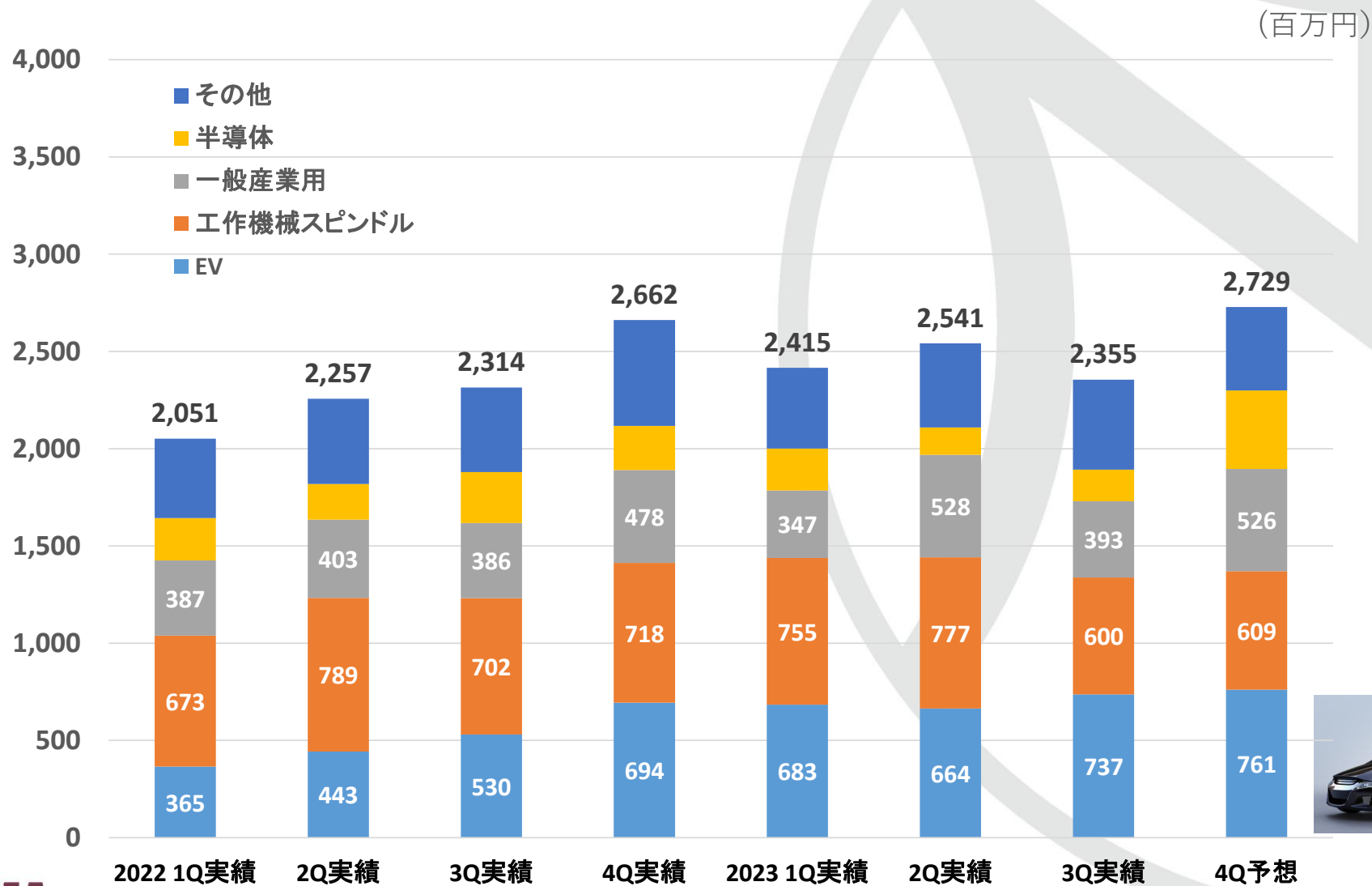
FY2022

FY2023

FY2022

FY2023

セラミックボールの用途別売上高推移及び予想



サステナビリティへの取り組み



昨年、当社は国際環境非営利団体CDPの審査を初めて受審し、その結果、8段階評価で上位から3番目となる「B」評価を受けました。引き続き、気候変動対策の強化に取り組んでまいります

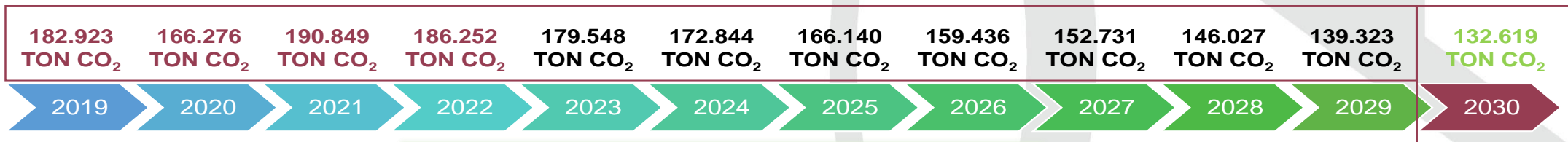
CO₂ 排出量削減目標



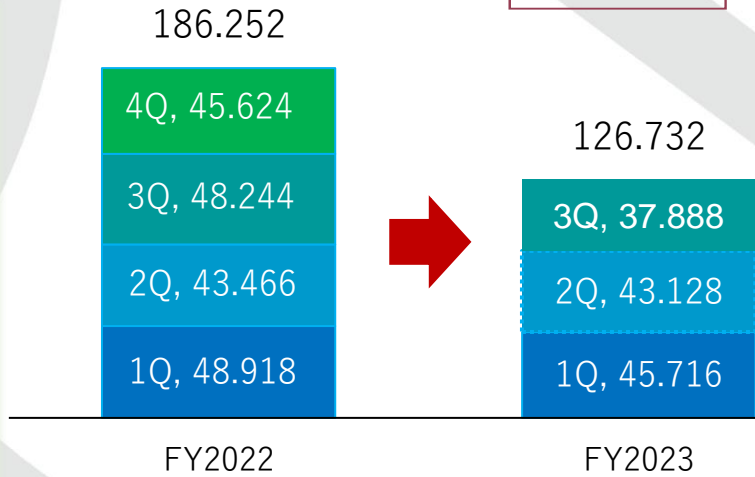
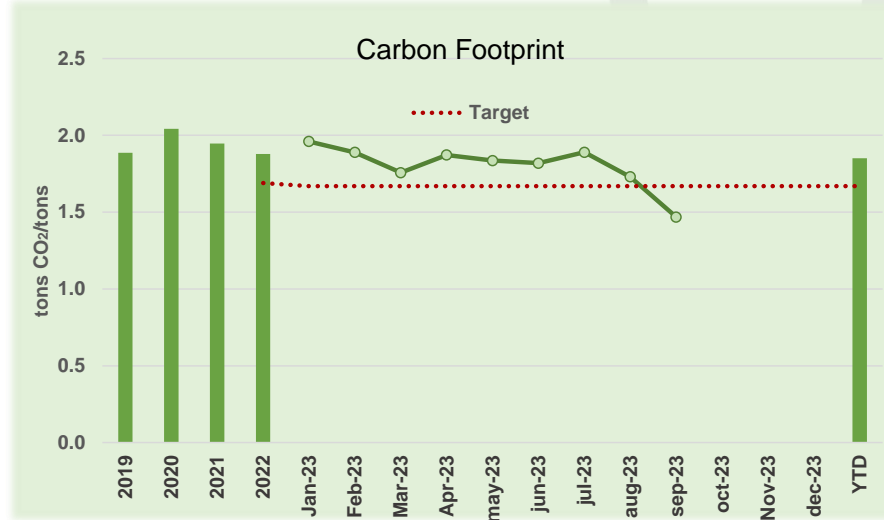
- 2030年までに、2019年比 ▲27.5%トンのCO₂削減
- 2050年までのカーボンニュートラル達成を目指す

- ⚡ 工場のエネルギー効率の向上
- ☀️ 再生可能エネルギーシステムの導入
- 🌱 グリーンエネルギー購入戦略

当社グループ
目標



CARBON FOOTPRINT	YTD Q3 (Q1+Q2+Q3) 2022	YTD Q3 (Q1+Q2+Q3) 2023	2023 vs 2022 %
JAPAN	2.6	2.5	-6%
AMERICAS	1.6	1.6	-2%
EUROPE	1.4	1.4	0%
CHINA	2.2	2.0	-10%
CERAMIC	32.8	29.3	-12%
MEDICAL	3.8	4.4	15%
TN	1.9	1.8	-4%



CO₂ 総排出量



免責事項

本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます）が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。